

校名	大阪府立箕面東高等学校
校長名	末永 惣彦

開催日時	令和6年12月6日(金) 14:00 ~ 15:00
開催場所	箕面東高等学校 校長室
出席者(委員)	伊東委員、永井委員、宗山委員、篠崎委員
出席者(学校)	末永校長、川上教頭、磯田教頭、宮守首席、山田首席、 藤井教諭、笠原教諭、浅野教諭
傍聴者	
協議資料	1. 授業アンケート結果 2. 令和7年度使用教科用図書の採択について 3. ES11期教育課程実施計画 4. ES8期進路状況(令和6年12月現在) 5. 国際交流ニュース 6. 「こどもの都市ミニミーノ」チラシ
備考	

○・・・委員の方の発言
*・・・本校教員の発言

議題等(次第順)

【協議事項】

1. 授業アンケート結果について(磯田教頭)

*どの項目においても昨年度の数値を上回ることができた。

*今年度からはGoogle formを用いてアンケートを実施した。

教員一人ひとりへのコメントが記入しやすくなった。

各教員が授業改善に生かすことができた。

(例)「授業中に個別に教えてもらうことの時間が多くありがたい」という意見が多かったため、そのような指導をより意識して行うようになった。

(例)「毎日モジュール授業に来るモチベーションになるものがほしい」という声があったため、1週間毎日授業に来た生徒にシールを渡し、カードに貼っているようにしたところ、遅刻せずに来ようとする生徒が増えた。

*来週にも後期分の授業アンケートを実施する。

2. 教科書選定について(藤井教諭)

*令和7年度使用教科書一覧表は府教育庁からの承認済

3. 令和7年度入学生(ES11期生)の教育課程について(藤井教諭)

- * 3年生の選択科目として「情報Ⅱ」を新設
⇒DX事業の支援を受けて導入する機器を用いて授業を行う。
内容としてはプログラミングやデジタルデザインの指導を行う。そのため、進路指導部と協力して大手前大学から講師を招聘し、教員向けの研修を行う。
- * 来年8月にLAN教室を2つから1つに減らさなければならないため、履修科目の組み合わせに影響があると思う。
- 学習指導要領の必履修科目は、全て2年次に履修しているのか？
- * 国数英の必履修科目は2年次に履修しているが、他教科では1年次から履修しているものもある。国数英に関してはエンパワメントスクールのため、1年次では学びなおしを行っており、必履修科目を履修することはできない。
- 情報機器の活用について、実際の現状はどうなっている？
- * 教員の情報機器の活用は進んでいっており、授業でパワーポイントなどは多く活用している。生徒に関しても、教室内のすぐに取り出せる場所にChromebookを置いており、アンケートの回答など様々な場面で活用することができている。
また、英語科では学習アプリ（Base in Osaka）も効果的に活用している。
- すべての教科で情報機器を活用されているのか？
- * すべての教科で毎回活用されているわけではないが、活用する場面を増やしていくことができるように実践中である。
- 情報機器にまつわる生徒のトラブルなどは起きているか？
- * 機器の破損など、物質的なトラブルは起きているが、生徒間でのトラブルはほとんど発生していない。

4. 3年生(ES8期生)の進路状況について(山田首席)

- * 大学で学びたいという生徒の増加
- * 専門学校希望者も多いが、希望分野が偏ってきている
- * 就職も、「売り手市場」と言われているが、一次試験の結果はかなり苦戦した
第一希望では大手企業を志望する生徒が多く、不合格になることも多かったが、そのような生徒たちも第二希望、第三希望で内定を得ることができている。
また諦めてフリーターになる生徒は少なめである。
- このような傾向は大学でも同じ

5. 箕面東高校の取り組みについて(宮守首席)

文化祭

- * PTAの方々にご尽力いただき、中庭のブースにて焼き鳥等の販売を行ってもらい大盛況であった。

生徒会活動

- * 文化祭での校内装飾や、次年度の体育祭のプログラム作りなど、役員たちは主体的に活動に取り組んでいる。

修学旅行

*久米島でホームビジットを行い、そこで現地の人と触れ合い、大阪では得ることができない体験をした。

○修学旅行には全員が参加したのか？

*130名中20名ほどは学校登校。理由は経済困難や、友人関係不安である。

校外学習や学校行事などにおいても欠席をする生徒は一定数いる。

○修学旅行の行先はどのように決めているのか？

*旅行社から提案されたプランの中から、学年の教員や管理職が相談して決定している。

○生徒が旅行会社と協力して、旅行プランをプレゼンテーションし、生徒の投票によって行先を決定している学校（中学校）もある。そのように生徒主体にしていくことができれば参加率も上昇するのではないか。

*生徒の意見を取り入れながら、生徒が修学旅行を“自分事として”捉えられるように工夫していきたい。

○旅行先を複数用意して、生徒が選択できるようにすることも良いと思う。

国際交流

*英語科の教員を中心に、精力的に行っていて、タイ、韓国、フィリピンの高校生とオンライン交流を行った。また、7月には大阪城でのストリートインタビューを行った。昨年度は2泊3日で行ったスタディーツアーin韓国も、今年度は3泊4日に拡大して実施する。

部活動

*BMX部は週2日で活動している。部活動加入率は40%で、弓道部は23人の部員がいる。また、ミュージック同好会は同好会から「部」に昇格

*中学校の部活動を地域移行していく取り組みへの協力

⇒全国でもまだ例のない、高校施設を活用したモデルケースに

箕面市の地域の中学生が本校に集まり、トレーニングルームなど箕面東の施設を使ってスポーツに取り組む

○中学校の部活動の地域移行に協力していくことが、かえって高等学校の負担を増やすことにならないか

*負担が増える部分もあるが、箕面東を中学生や地域に対してアピールするチャンスでもあるので、無理のない範囲で協力できるところは協力していきたい

こども都市 ミニミーノ

*子どもたちだけでお祭りを運営するイベント。箕面船場で行っていたが、本校サッカー部の生徒が1人関わっているつながりから今回は本校で開催する。

*3月5日（水）10:00～ES8期生の卒業式

*第3回は3月上旬で調整をおこなう。